

エースをねらえ!

〈声の出演〉
高坂真琴／野沢那智
森 功至／池田昌子
納谷悟朗

原作 ■
山本鈴美香
(集英社「週刊マーガレット」連載)

二度とないこの一球にきりめくような
《愛》と《生命》をこめてわたしは——打つ!

東宝

製作 ● 藤岡豊／監督 ● 出崎統／脚本 ● 藤川桂介
主題歌・作詞 ● 竜真知子／作・編曲 ● 馬飼野康二
「まふい季節」に (CBS・S・ニ) 歌 ● 少年探偵団
製作 ● (株) 東京ムービー新社
配給 ● 東宝(株)

★ 準人
真行寺君枝
アン・ルイス
新井康弘
今井健二
深江章喜
伊東四朗

★ 賛助出演

竹下景子
左 とん平
せんだみつお
湯原昌幸
山田隆夫
三遊亭金馬
荒井 注
谷 ● 啓
前川 清
内山田 洋
宮本悦朗
小林正樹
ずうとるび
シェリー
角川 博
ピンク・レディー
ハナ 肇

★ 特別出演

〈明日の刑事〉

坂上二郎
田中 健
志穂美悦子
橋本 功
東 竜也
鈴木ヒロミツ
梅宮辰夫
はらたいら
篠原かずお
篠沢教授

監督 ★ 居作昌果

ピンマン80

製作 ★ 居作昌果／企画 ★ (株) A・V 企画
脚本 ★ 松岡孝かとうまなぶ岡雄二／音楽 ★ たかしあきひこ／テーマ曲(作詞・作曲) ★ 近田春夫
「夢盗人」ヘキニオン・レコード歌★コンディション・グリーン
「ウッカリBOYチャッカリGAL」ヘ東芝EM歌★ずうとるび
テクニカルディレクター★松下 紳／製作★株式会社A・V企画／技術協力★東通／image transform inc.
配給★東宝株式会社／東宝・A・V企画提携作品

“Jump High” Hiromi!

9月8日(土)より大公開

ヒビヤ
千代田劇場
☎ 591-1716

ハチ公前
渋谷宝塚
☎ 461-8779

上野駅前
上野東宝
☎ 831-3431

一千万ファンの熱い声援にこたえて 劇場用アニメ完全映画化!!

昭和48年1月、週刊「マーガレット」に連載されるや、少女マンガファンの熱烈な支持を受け「ベルサイユのばら」と並ぶ人気作品に伸び上がった「エースをねらえ!」は、その秋にテレビアニメ化された。その後、再放送によりファン層も20才前後の大学生やOL、主婦へと拡大、平均視聴率25%~28%を擁するゴールデン番組へと成長していった。

さらに昭和53年、固定化したファンの要望により「新・エースをねらえ!」が登場するに至り、いよいよそのブームは頂点を極める事になった。現在、単行本の売行きも約1千万部に達している。

「エースをねらえ!」は、まさに1千万ファンの夢ののせ、完全劇場用アニメとして装いも新たに登場してくるファン必見の映画なのだ。

“俺はおまえを選んだ、 岡!! おまえには女を越えてもらう。”

ジュニア・テニスの王国と称される県立西高。岡ひろみは西高テニス部の名誉あるボール拾いである。西高テニス部はキャプテンの尾崎勇をはじめ、藤堂貴之・竜崎麗香など、全日本ジュニアクラスのメンバーを擁していた。とりわけ女子部三年生の竜崎麗香は〈お蝶夫人〉と呼ばれ、その秀れた技術と華麗なフォームで全生徒のあこがれのまもりであった。岡ひろみもお蝶夫人にあこがれてテニス部に入ったが、とりたてて目立つ存在ではなかった。ただ、彼女は素直で明るく愛らしい女の子だったので、お蝶夫人は何となく手とり足とり指導してやった。

そんなある日、青年コーチ宗方仁が新しく着任した。宗方は、皆から一人前に見られていない岡ひろみを地区大会の代表選手に指名する。ひろみと宗方の猛烈な特訓が始まった。それは男子選手の特訓以上に厳しいものであった。フラフラになって倒れそうなひろみに宗方の厳しい言葉が……。「俺はおまえを選んだ。岡!! おまえには女を越えてもらう。」

岡ひろみの動揺と葛藤を、ひそかに見つめてくれ、しかも励ましを与えてくれるのは、男子テニス部の藤堂貴之であった。そんな藤堂にひろみもいつしかあこがれにも似た恋心を抱くようになっていく。

秋、ジュニア・テニスエリート養成の計画によって、全国から有望な高校選手が軽井沢に集合した。その中には、お蝶・藤堂・尾崎等と一緒に岡ひろみの姿もあった。そこでテスト期間にトーナメント方式の試合を勝ち進む岡ひろみ。やがて彼女は、日本を代表するジュニア選手へと成長していく。

世界ジュニア選手権出発の日。空港では華やかに壮行会が行なわれている。しかし宗方には不治の病いの為に死の刻が近づいていた……。

エースをねらえ!



ピーマン80

「オレが作る映画は 悲しみもなければペーススもない、 あるのはギャグのみである。」

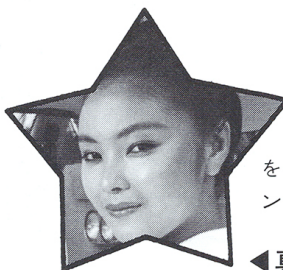
こんな氣勢を上げて、映画界にTVのプロデューサーが乗り込んできました。居作昌果。「8時だョ! 全員集合」「クイズダービー」など、常に30%以上の高視聴率をマークしているのが彼です。居作監督が、TVのブラウン管の枠からはみ出した連続ギャグをスクリーンに展開し、強烈スラップスティック・コメディをくりひろげます。



◀新井康弘

は、新井くん、ひょんなことから知り合った谷氏のマンションに居候している。この谷氏、熱帯夜には冷たいソルティ・ドッグで一杯というスノップ野郎なんだが、実は大胆不敵な大怪盗。次のヤマはデパートの売り上げ金。現金な新井くんはこのことを打ち明ければ、これが一獲千金を得る方法と、すぐさま谷氏の助手に早変わり。

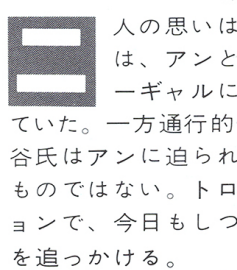
谷 隼人▶



あ

る日、二人は和服のよく似合う君枝ちゃんに会え、一目惚れ。新井くんなんかハッスルしすぎて、しょう油を借りに来た彼女に一升びんごとリボンまでつけて渡してしまう始末なんだ。

◀真行寺君枝



人の思いはすさまじいんだが、谷氏は、アンというファンキーギャルに追っかけられていた。一方通行的愛情でもって、谷氏はアンに迫られるからたまったものではない。トロピカルファッションで、今日もしつこくアンは谷氏を追っかける。

アンルイス▶



んな新井くんと谷氏をじっと見守る男がいた。ずいぶん人相が悪いんだが、それでも刑事というから驚きだ。二人の計画をひそかに知っていたのだ。さあ、大変。おかしい人間がいり乱れて、狂気の笑いが君を直撃する。すべてをパロって、ピーマン人間がしかけた笑いのマッド・ボンバーは大爆発!

◀伊東四朗